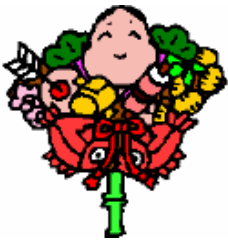


## 今月の話題は…?



さて、十一月ですね。んっ、十一月、皆さん十一月っていつ何を思い出します？クリスマスやお正月にはまだ早いし、行楽の秋というにはちょっと寒いし。実は編集長、今月号を執筆するに当たって非常に困りました。そうなんです！編集長にとって十一月って、何の思い出入れも思い出もありませんよ…。さてどうしようか？それじゃあ、これまで余り気にしなかった十一月について、少し調べてみましょうか？。昔の人は、十一月のことを『霜月』と呼びました。“霜の降る月”読んで字の如し、まさに秋から冬へ、寒さもこれから本番の月ということなんです。『霜月』には二十四節季のうち、『立冬』と『小雪』があるそうです。(編集長は今まで立冬は十二月だとはかり思っていました。恥かしい！笑)立冬とは今年七月頃で、日が短くなり時雨が降る季節をいい、北国や高山からは初雪の知らせが届き、関東地方では空っ風が吹くもの頃だとされ、この日から立春の前日までを冬としているそうです。また、『小雪』とは二十一日頃で、陽射しは弱まり冷え込みが厳しくなる季節とされ、木々の葉は落ち、平地にも初雪が舞い始める頃だそうです。皆さん『小春日和』って言葉知っていますか？これも十一月のことなんです。(編集長はこれも知らなかった！)意味は、「日毎に冬めく季節である、ほっかると春の日を思わせる日のこと。」と。うん、勉強になりましたね。(笑)

だいぶ寒くなってきました…。  
季節は、秋から初冬へ…。もう十一月ですね。日本シリーズも始まったなあと思ったら、あっという間に終わっちゃって…。今年の巨人は強かったですね！それに比べて我がベイスターズは…(悲涙) まっ、来年は山下新監督の元、頑張ってもらおうとして！今年も残すところあと二ヶ月、張切って行きましょう！



十一月には、祝日が二回ありますね。この祝日の由来をご存知でした？(偉そうですね、すみません…汗)まずは三日の「文化の日」。日本国憲法発布を記念した祝日で、その昔は、明治天皇の誕生日「天長節」だったそうです。別に「憲法記念日」があるのに、この「天長節」のためにはわざわざ半年すらしたという説もあるとか？次に二十三日の「勤労感謝の日」ですね。作物の収穫に感謝するものが祝日化したものらしいです。(働く人の為の祝日だとはっきり思っていました。恥笑)また、この日當中では、秋に収穫された新穀を神々に供え感謝する行事「新嘗祭」が行われることとです。  
祝日ではないけど十一月といえば「七五三」ですね。(我が家でも来年次女が七五三だ！)言わずと知れた、親が子どもの成長を願うお祝いの行事ですね。(子どもにしてみれば千歳飴を堂々と舐められるくらいかも？知れませんが…)笑(江戸時代には、男女とも三歳で「髪置・かみおき」、五歳で「袴着・はかまき」、女子は七歳で「帯解・おびとき」のお祝をしたそうです。十五日には大勢で氏神に詣るため、この神社も大変混雑したそうです。(これは今も昔も変わりありません。笑) そうそう、あと商人に欠かせないのが「西の市」。十一月の西の日に行われる祭で、商売繁盛を願い、縁起物の熊手を買って神棚に飾り、家業の繁栄を祈ります。熊手とは「かっこめ」「はっこめ」ともいわれ、神様の御分霊だそうです。今年は「一・十三・二十五日」で「一」の西・「二」の西・「三」の西まであるそうです。下町浅草の鬻神社が有名ですね。よく行くでもよってるといね！(でも編集長は行った事がない…汗)なんか今月号は溜蓄(うんち)のちんちん(は)っかて難しなっちゃいましたね。書いてる編集長も分かったらうな分らないうな…。(笑)  
では、最後に十一月の旬って何でしょ？って答えは、柚子・柿・温州ミカン・わさび・ヒラメ。だそうです。では、美味しい鍋でも食べて、ゆっくり温かいお風呂にでも入る事にしましょうか…。

## 霜月の行事は何がある？